

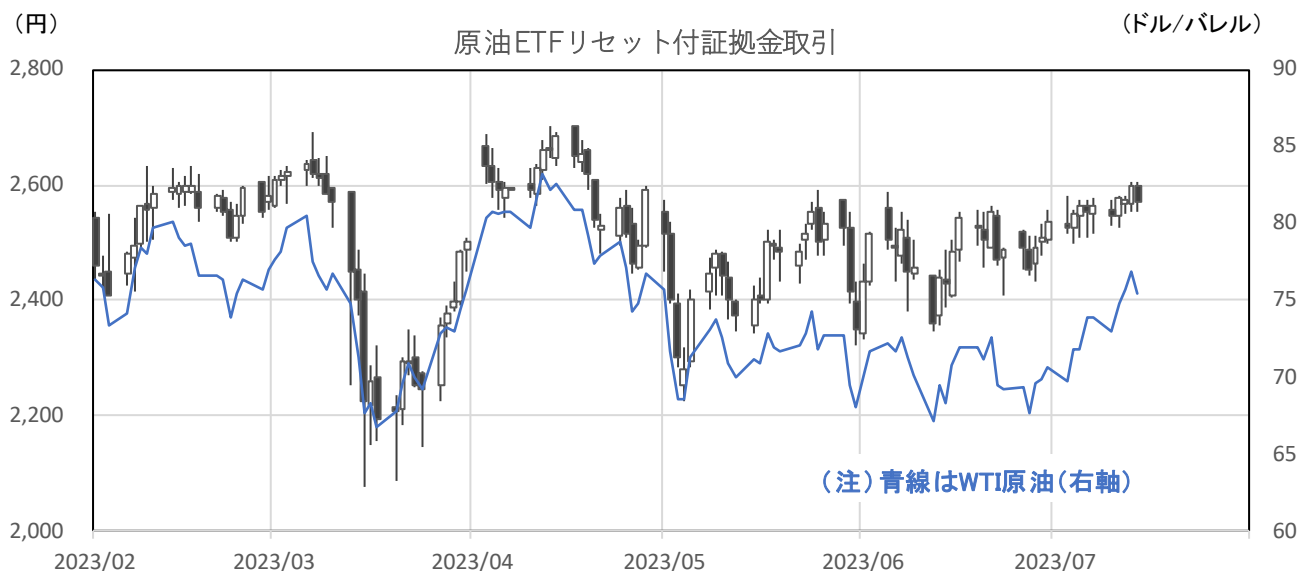
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/07/18号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

1か月半ぶり高値更新、ドル安・株高を好感

NY原油先物相場は、1バレル=77.33ドルまで値上がりして4月26日以来の高値を更新した後、75ドル台中盤まで上げ幅を削る展開になった。需給ひっ迫見通しに加えて、米利上げ長期化観測の後退で米金利低下・ドル安・株高が進行したことが好感され、上値を大きく切り上げた。75ドルの節目を完全に上抜いている。ただし、週末にかけては短期的な過熱感から利食い売りを進める動きが強まり、上げ一服となった。

注目されていた国際エネルギー機関（IEA）と石油輸出国機構（OPEC）の月報では、2023年の世界石油需要見通しをIEAが日量22万バレル引き下げる一方、OPECが9万バレル引き上げた。しかし、マーケットの反応は限定的だった。それよりも米インフレ指標の改善を受けて、ドルインデックスが年初来安値、米国株が年初来高値を更新したことの方が重視された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（7月7日時点）は、原油が前週比595万バレル増、ガソリンが変わらず、石油精製品が482万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫見通しとドル安環境で堅調地合が続く

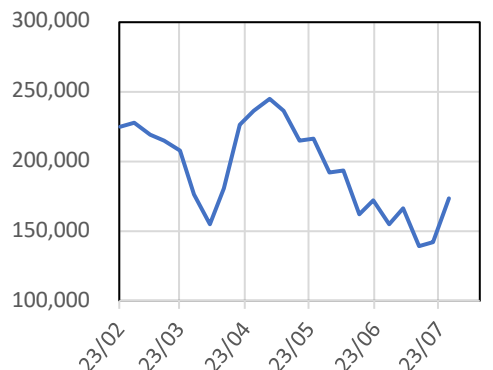
需給ひっ迫見通しが維持される中、前週に続いて押し目買い優勢の展開が続き易い。過熱感が強くなっているため、持高調整でも72ドル水準まで軟化する可能性を抱えるが、押し目は買い拾われよう。既にブレント原油は80ドルの節目を突破したが、WTI原油も80ドルの節目に迫る展開になろう。

7月と8月にサウジアラビアが日量100万バレル、8月にロシアが日量50万バレルの供給削減を行うことになり、国際原油需給のひっ迫化に対する警戒感が強い。年後半は中国など世界の需要拡大が加速する見通しであり、供給調整が着実に履行されると、需給ひっ迫傾向が強まる見通しにある。

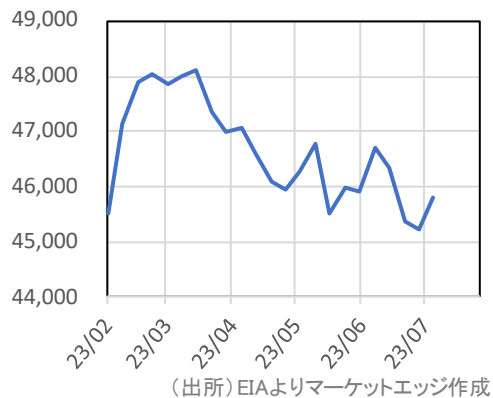
加えて、前週に大きな変化を見せたのが米金利・ドル相場環境だ。米利上げ長期化に対する警戒感が米金利上昇・ドル高を促していたが、米インフレ指標がディスインフレ傾向を示したことで、改めて利上げの早期終了観測が浮上している。米金融政策の先行き不透明感は根強いが、米長短金利が急低下し、ドルが急落していることは、原油相場に対してポジティブである。7月25～26日の米連邦公開市場委員会（FOMC）に向けて、米金利低下・ドル安・株高傾向が維持されると、地合が引き締まり易い。

一方、中国を筆頭とした世界経済の減速懸念は残されるため、各国の経済指標には注意が必要。17日に中国の4～6月期国内総生産（GDP）、6月小売売上高と鉱工業生産、18日に米国の6月小売売上高と鉱工業生産などが発表される。これらをきっかけに需要リスクにマーケットの関心が回帰すると、調整リスクが高まる。

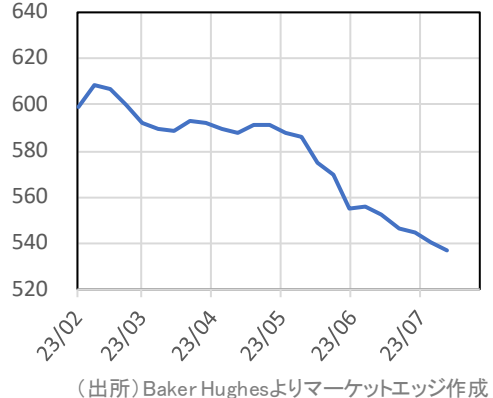
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

